



令和3年度 冬のセミナー 「子どもの発達と発達障害の理解」

2月25日に冬のセミナーは、開催いたしました。今回は、平安女学院大学の清水里美先生に「子どもの発達と発達障害の理解」についてご講演いただきました。事前に募集した参加者の皆様からの質問にも答えていただきながら、発達についての基本的なことから発達の課題の捉え方、発達障害と愛着障害まで大変わかりやすくお話しただけました。また、現場でのアセスメントや保護者との連携と支援についても教えていただきました。

昨年度に引き続きコロナウイルス感染拡大防止対策として、オンラインでの実施となりました。お忙しい時期ではありましたが、32カ所から約130名の方から申込みがありました。皆様にとって充実した学びの機会になったのではないのでしょうか。

参加された方の感想をいくつか紹介いたします。

教室の気になる子を思い浮かべながら話を聞かせてもらっていました。注意しなくていいようにするために何を用意してあげればいいのか、環境調整が大切という話が心に残り、明日からに生かしていきたいと思いました。

発達心理学の視点から、発達のことを詳しく教えていただけて、とても勉強になりました。今日の講義でお聞きした「保護者と話をしていく際の心がけ」に気をつけながら、話を聞いていきたいです。

発達の視点から日々の実践を見直す大変良い機会になりました。ありがとうございました。

社会的カモフラージュ行動への理解は、普通学級で困っている子ども達の支援に必要なことだと感じました。「できる体験」を保証するために、前の段階がどのようにできるか観ていきたいです。

発達の視点が整理されてわかり、とても勉強になりました。これまでも子ども達の環境を調整し、子ども達に合わせた教育を積み重ねてきました。それが間違っていないとわかり嬉しく思いました。

丁寧に発達の経過や発達障害について説明してくださった上での、関わる側の対応方法や気持ちを教えてください、とても学びになりました。

乳幼児期からの発達や認知のところから詳しくお話しただいて、とても参考になりました。小学校入学以降からの様子は実際に関わっていることから様子が分かるのですが、それ以前についてはなかなか知らないことが多いので、今回この研修で学べて良かったです。また、それぞれの障害の特性や、保護者の方へのアプローチや共感など、教育相談をすることがあるので、具体的にお話しただいて大変参考になりました。

～今年度を振り返って～

向日葵相談・支援センター長 田中 裕美

あっという間に一年が過ぎ去ろうとしています。コロナ禍ではありましたが、できる範囲内で最大限の相談、研修等を行わせていただきました。本センターの取組が少しでも先生方や子ども達の助けになれば幸いです。

今後とも少しでも役に立つ、実践に生かせる研修を計画し、乙訓地域の皆様と一緒に特別支援教育について学び、それが子ども達のより良い成長につながっていくことを願っています。また、子ども達のことを多面的に理解し、日々の支援のヒントとなるような相談事業も引き続き行っていきたいと思います。

たくさん子ども達や先生方、保護者の皆様と出会うことができた一年でした。これからも“困ったときの向日葵！”と気軽にご相談いただけるセンターを目指していきます。

一年間、ありがとうございました。

## 令和4年度 研修の予定

### WISC セミナー

日時：令和4年7月29日（金）

講師：大六 一志 氏

（NPO 法人 LD・Dyslexia センター 顧問

放送大学 客員教授）

### 夏のセミナー

「発達に課題のある子どもの理解と支援」  
～思春期・青年期における自己理解を促すために幼少期からできること～（仮）

日時：令和4年8月中旬（動画配信）

講師：伊丹 昌一 氏

（梅花女子大学 教授）

来年度は、「WISC セミナー」「夏のセミナー」の2つを夏に開催する予定です。夏のセミナーについては、期間限定の動画配信です。夏休み期間中などの校内研修としても、是非ご活用いただければと思います。

新型コロナウイルス感染拡大防止に十分配慮し、少しでも多くの方々と一緒に学べる機会を作りたいと考えています。一緒に学ぶ仲間を増やすためにも、周りの先生方にもお声かけいただけると嬉しいです。

つきましては、一次案内を近日中に本校ホームページに掲載いたしますので是非ご覧ください。

皆様の申込みを心よりお待ちしております。

